

3. 渋川市の取り組み状況

これまでに実施した調査結果について

	計	材料が基準値を満足している	材料が基準値を超過している		
			土壌の基準値超過	地下水への影響	
調査を行った工事の施工箇所	72	23	49	41	0

- 渋川スカイランドパーク第2第6駐車場補修工事に際し、路盤材として使用されていたスラグ砕石に基準値を超える「六価クロム」及び「フッ素」が含まれていることがわかった。このため、市がこれまでに行った工事箇所を調査したところ、平成27年10月末現在、市内の全72工事でスラグ砕石の使用が確認された。
- 材料が基準値を満足している23工事のうち、6工事については、材料の分析試験の結果、基準値を満足していた。また、17工事については、品質規格証明書が提出されており基準値を満足していた。
- 材料が基準値を超過している49工事のうち、41工事においては、材料直下の土壌の分析試験の結果、基準値を超えていた。なお、この41工事については、群馬県環境森林部において地下水の調査を実施したところ、地下水への影響は認められなかった。

鉄鋼スラグを含む材料が環境基準値を超過している工事の施工箇所

	計	撤去予定	表面被覆する	表面被覆済
材料が基準値を超過している工事の施工箇所	49	9	32	8

- 材料の分析試験の結果、基準値を超えていた49工事のうち、9工事については、将来にわたり管理できない箇所等であることから撤去する方針とする。
- 撤去以外の施工箇所のうち、32工事については、材料が露出しているため、群馬県環境森林部の助言を得ながら表面を被覆する方針とする。
- 残り8工事については、材料が舗装等により被覆されているため、存置する方針とする。

3. 渋川市の取り組み状況

鉄鋼スラグを含む材料が環境基準値を満足している工事の施工箇所

	計	表面被覆済み	材料が露出している
材料が基準値を満足している工事の施工箇所	23	17	6

- これまでの調査の結果、基準値を満足していた23工事の施工箇所のうち、17工事については、材料が舗装等により被覆されているため、存置する方針とする。
- 材料が露出している6工事のうち、4工事の小・中学校の箇所については、スラグへの経口・接触リスクが高いと考えられるため、群馬県環境森林部の助言を得ながら、必要に応じて表面を被覆する方針とする。